

2021年3月16日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

パートタイム起業家※は「29歳以下」や「女性」の割合がかなり高い

～「2020年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要～

本調査では、起業した人を働く時間に応じて分析したほか、まだ起業していない人にも焦点を当てました。また、自ら事業を始めているにもかかわらず、事業経営者との認識をもたない人も、起業家と位置づけて調査しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※本調査では、現在経営している事業に充てている時間が1週間当たり35時間未満である人を「パートタイム起業家」、同35時間以上である人を「起業家」と定義している。

<主な調査結果>

1 パートタイム起業家は起業家比べて「29歳以下」や「女性」の割合がかなり高い(本文4ページ)

パートタイム起業家は、起業した年齢が「29歳以下」である割合が39.4%と、起業家の20.7%を大きく上回っている。性別は、パートタイム起業家の45.8%が「女性」であり、起業家(26.3%)よりもかなり高い割合であった。

2 パートタイム起業家は育児や介護に携わっている割合が相対的に高い(本文5、6ページ)

育児に携わっている割合は、起業関心層(31.3%)とパートタイム起業家(28.5%)が、起業家(21.5%)、起業無関心層(24.8%)に比べて高い。介護に携わっている割合は、パートタイム起業家(15.2%)が相対的に高かった。通勤時間が「1時間以上」である割合は、起業関心層(31.7%)と起業無関心層(22.7%)で高い。一方、起業家とパートタイム起業家では「自宅の一室」で仕事をしている人(順に50.0%、56.6%)が半数以上を占めている。

3 自己資金だけで起業する人が7割を超える(本文11ページ)

起業費用に自己資金が占める割合が「100%(自己資金だけで起業)」である人は、起業家(75.2%)、パートタイム起業家(70.4%)ともに7割を超えた。なお、起業家では起業にかかった費用が「50万円未満」とする割合が30.2%と最も高く、パートタイム起業家では「費用はかからなかった」(42.9%)が最も多かった。

4 起業家とパートタイム起業家の満足度は相対的に高い(本文23ページ)

総合的な満足度が「かなり満足」である割合は、起業家(11.7%)とパートタイム起業家(9.7%)が、起業関心層(5.8%)、起業無関心層(3.3%)に比べて高い。一方、「かなり不満」とする割合は、起業関心層(12.4%)で最も高い。起業家やパートタイム起業家は相対的に満足度が高く、起業関心層は低いといえる。

<調査の要領> ・調査時点:2021年2月
・調査方法:インターネットによるアンケート
・調査対象:全国の18歳から69歳までの男女
・回収数:8万2,159人

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:青木、桑本)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー